

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	韓国朝鮮語第二		
英文授業科目名	Elementaly Korean II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	廉 東浩		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
主題及び達成目標：前期で学んだ韓国語の文字をベースに、より豊富な表現を習得し、韓国語で簡単な会話及び自己紹介ができるようにする。

【前もって履修しておくべき科目】
韓国朝鮮語第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
韓国朝鮮語第一

【教科書等】
韓国語を学ぶ（CD付）：前期テキストの続き。 初級 李昌圭 朝日出版社

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

下記のような内容を順に進めていきます（状況によって前後することもあり得る）。

1.動詞の活用を覚える（丁寧形、疑問形、否定形） 2.現在・過去時制において動詞変化を覚える 3.漢数詞と固有数詞を覚え使い方を理解する 4.助詞の使い方を覚える 5.4までの学習内容をベースに多様な表現を学習する。6.辞書を引きながら簡単な自己紹介を書けるように練習する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：期末試験及び小テスト結果より総合評価する。

成績評価：平常点（小テスト、出席率、授業参加度など）：30%

期末試験：70%

最低評価基準：出席率70%以上であること。期末テストを受けることを最低評価基準とする。

【オフィスアワー：授業相談】

- ・授業の前後で解決できない個別相談は事前に電子メールなどで時間を決める。
- ・質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

受講に当たってもっとも必要なのは、韓国や韓国文化に対する興味と関心、そして「やる気」です。休まず、まじめに講義に出れば、後半には自らの力で自己紹介文が書けるようになるはずです。

【その他】